



奥薩摩水と緑の郷づくり構想における、水辺の楽校ゾーン周辺（神子橋下流付近）



観光振興

高嶺虎男議員

奥薩摩構想の取り組みは
広域的な視野で

川内川と鶴田ダム資源を生かし、奥薩摩水と緑の郷づくり構想と川内川アクアフロント構想や鶴田ダム水源地域ビジョン協議会の設立等、国・県の段階で活性化の方向付けがあります。現状の観光施設と合せ、取り組みの考えを伺いたい。

町長

第4次振興計画で奥薩摩水と緑の郷づくり構想を観光推進策として掲げ、ダム周辺ゾーン、神子地区水辺の楽校ゾーン、紫尾温泉歴史ゾーンの三つのゾーンとなつていきます。

国県の財政事情も厳しい中で大きな支援は期待できない面もあり、鶴田町だけで観光振興を図るより奥薩摩構想、川内川アクアフロント構想の一環として、広域的に取り組みし既存の観光施設をフル活用して激しい財政状況の中、今後の具体的な施策を本町に結び付けていきたい。

集客対策は

郷土料理メニューに努力



あび〜る館レストラン「あじさい」の利用客

あび〜る館は開業3年目に入った。利用目的別来客者の実態と、客から地域の特徴ある郷土料理提供の声があるがどのようになぞらえているか。

町長 今年3月10日現在、温泉利用が22万9000人、プール利用が3万9000人、宴会が2万6000人です。

あび〜る館は健康福祉の中核施設と位置づけられており、その趣旨に沿って、予約制で薬膳料理を準備して参りましたが、メニューという点では十分ではないと認識しています。今後特色ある郷土料理メニューの開発に努力して参りたい。

宿泊施設については、計画当初から建設しない方針で取り組んできました。近隣に民間施設が存在しており、この件に関しましては共存共栄を目指すというスタンスに立って今後取り組みたい。

一般質問

今回の一般質問は3月13日に行われ6人の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

町村合併

四位芳彦議員

具体的な取り組みは

祁答院4町か5町が現実的



市町村合併は、財政上の優遇措置を中心とする合併特例法の時限があり、各地で合併論議が活発化している。本町も中薩地域合併研究会に取り組み、地域の将来像の調査研究が進められてきたところで、先般その研究会の報告があり、各町単独市町村の単



市町村合併に関する集落説明会（大角集落）

市町村合併は、財政上の優遇措置を中心とする合併特例法の時限があり、各地で合併論議が活発化している。本町も中薩地域合併研究会に取り組み、地域の将来像の調査研究が進められてきたところで、先般その研究会の報告があり、各町単独市町村の単

町長 今年3月10日現在、温泉利用が22万9000人、プール利用が3万9000人、宴会が2万6000人です。あび〜る館は健康福祉の中核施設と位置づけられており、その趣旨に沿って、予約制で薬膳料理を準備して参りましたが、メニューという点では十分ではないと認識しています。今後特色ある郷土料理メニューの開発に努力して参りたい。

いこいを、ただしてみました